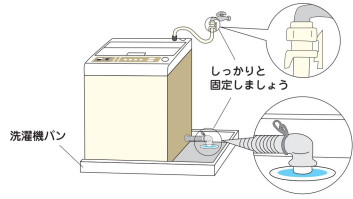


ご入居期間中の注意事項とお願い

1. 水漏れの防止

1) 洗濯機の排水パイプについて

洗濯機の排水パイプは確実に洗濯機置き場の排水口へ差し込んでください。十分に差し込まれていないと洗濯排水が洗濯機置き場から溢れ、下の階への水漏れの原因となります。ご入居者の不注意によって、下の階へ被害が生じた場合、修繕費用はご入居者様負担となりますのでご注意ください。



2) 水漏れや排水詰まりを防止しましょう

水漏れ防止のために以下の点にご注意ください。

① エアコンの排水用ホースは、排水口へ。

→下の階への水漏れ防止のために排水用ホースはベランダ排水口へお願いいたします。

② 排水口は、定期的にゴミの掃除をお願いします。

→浴室・洗面所の排水管詰まり防止の為、定期的にゴミや髪の毛を除去してください。

③ 玄関の土間、ベランダでの水の使用はお控え下さい。

→玄関の土間、ベランダは防水加工が施されていないため、下の階へ水漏れを起こす可能性がありますので、水の使用はお控えください。

2. 火災の防止

1) コンロ

コンロのご利用で最も危険なのが油を使用している時です。**絶対に目を離さないでください。**



2) タバコ

タバコの火は小さいですが、寝具やカーテン・衣類などに燃え移ると大きな火事につながります。火が消えたのをきちんとご確認ください。また、**寝タバコはタバコ火災の一番の原因**となっておりますので、絶対にしないようお願いいたします。



3) 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器とは、住宅内の火災の発生をいち早くキャッチし、警報ブザーや音声によって知らせる装置です。万一警報器が作動した場合は火元を確認し、急いで避難してください。

故障かな?と思ったら

- ・音や光を発している
- 電池交換が必要です。



住宅用火災警報器

- ・火災もないのに警報音がなった
- 調理の煙、湯気、ヘアースプレー等にも反応する場合があります。
- 窓やドアを開けて、換気を行ってください。**

3. 結露、カビを防止しましょう

1) 結露とは・・・

結露とは、部屋の外と中の温度差によって窓などに水滴が発生する現象のことです。カビの原因にもなりますので、必ず防止対策を実施してください。



2) 結露対策はこれ!

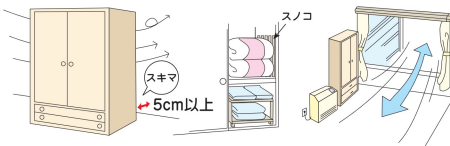
- ・1日2~3回以上を目安に窓を開けて、空気を入れ換えましょう。
- ・窓に付いている小窓はなるべく開けておくようにしましょう。
- ・入浴時、調理時は換気扇を回しましょう。



3) 上手なカビ対策

カビ対策は予防が一番大切です。下記にご紹介する方法を行って、上手なカビ対策を行いましょう。

- ・通気性の確保 →家具などは壁に密着させず、壁から5cm程離して通気性を確保しましょう。
- ・換気をする →こまめに空気の入れ換えを行いましょう。
- ・乾燥させる →エアコン、除湿器などを使って湿度の調整を行いましょう。

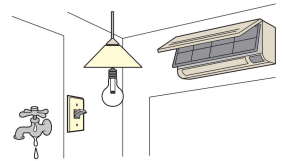


4. その他お願い、注意事項

1) 建物維持管理へのご理解ご協力

弊社は、ご入居者様へ安心できる快適な住環境の整備を目的とし、建物や設備の点検・維持管理を行います。その為、室内設備の点検を行う際はご入居者様のお部屋に入室が必要な場合があります。

- 例) ・住宅用火災警報器の機能点検
- ・避難ハシゴ等の消防設備機器点検
 - ・水漏れの際の水まわり設備点検 など



2) 電球の交換、備品・設備などの小修理

スイッチが室内にある照明の電球は、ご入居者様のご負担で交換をお願いします。なお、交換する電球は指定ワット数で交換してください。また、水道蛇口の止水コマ、パッキン、エアコンフィルター等の交換費用もご入居者様のご負担となります。



3) ペットの飼育について

ペットの飼育は一部のペット飼育可の建物を除いて堅く禁止しております。一時的な預かりも同様に厳禁です。また、敷地内、隣接地での餌付け行為も禁止しております。皆様のご理解ご協力の程よろしくお申し上げます。



4) 換気扇・エアコンの掃除について

シーズン前にはエアコンを試運転し、作動の確認とフィルターの掃除をしましょう。



- ◆エアコンフィルターはこまめに掃除をすることで悪臭を抑えるだけでなく、電気代の節約にもつながります。
- ◆換気扇の掃除は3ヶ月に1度が目安です。台所換気扇は空気と一緒に油分も吸い込みます。油汚れが付着しますので、こまめに清掃をお願いします。

5) ベランダ、共用部分について

ベランダや共用部分(廊下など)は緊急時の避難通路を兼ねております。タイヤ、ゴミ、物置などは置かないでください。ベランダや、廊下において、手すりや壁に足をかけて登る行為は大変危険です。またエアコンの室外機に登る行為もおやめください。

